

西宮市の決算の概要
～平成24年度版～

平成25年10月

西宮市 総務局 財務部 財政課

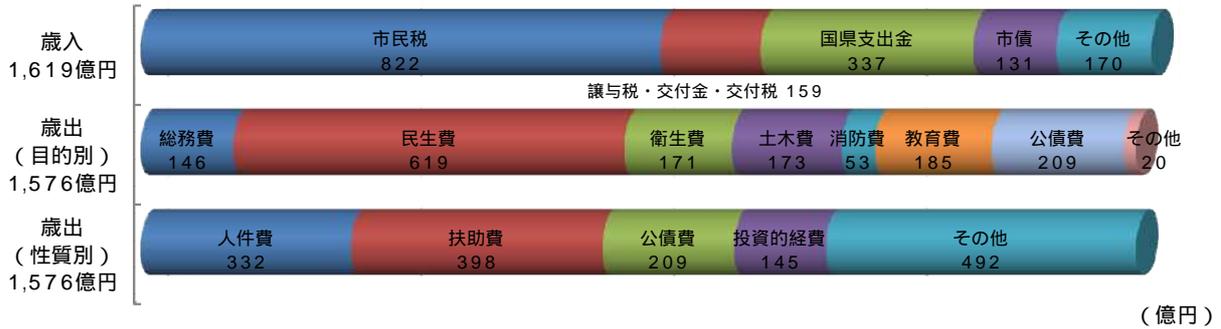


目 次

1 .	決算の概要	1
2 .	歳入の推移	
(1)	歳入	2
(2)	市税	2
3 .	歳出の推移	
(1)	目的別	3
(2)	性質別	3
4 .	特別会計の決算状況	4
5 .	基金現在高について	4
6 .	市債の状況	
(1)	市債の元金返済額と借入額の推移	5
(2)	市債現在高の推移	5
7 .	投資的事業の状況	6
8 .	主な財政指標	
(1)	経常収支比率	7
(2)	財政力指数	7
9 .	市民一人あたりの決算額	
(1)	歳入	8
(2)	歳出	8
(3)	市債残高および基金残高	8

1. 決算の概要

H24年度一般会計決算状況



平成24年度は、保育所の待機児童対策などの子育て支援や障害者施策、学校施設などの耐震化、東日本大震災を教訓とした防災・減災対策など市民ニーズを踏まえた施策や安心・安全を高めるための事業を実施しました。

一般会計の決算額については、投資的経費や公債費の減により歳入・歳出ともに前年度決算額を大きく下回りました。

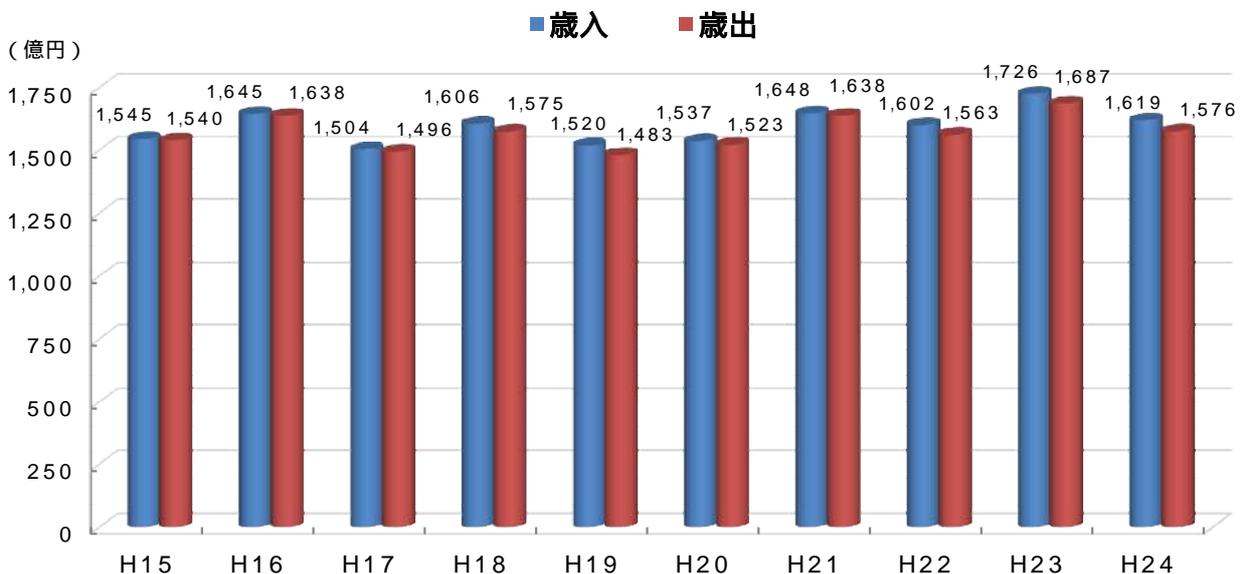
歳入では、根幹である市税収入が、年少扶養控除の廃止による個人市民税の増等により、前年度より増額となりましたが、地方交付税は前年度に引き続き減額となりました。また、前年度に収入のあった土地開発公社に対する貸付金の返還が24年度はなかったことにより、諸収入が大幅な減額となったほか、24年度に完成した東部総合処理センターの整備事業費の減に伴う市債の減により、総額では前年度に比し6.2%の減額となりました。

一方、歳出では、阪神・淡路大震災の災害復旧事業などの財源として借り入れた多額の市債の返済の一部が終了したため、公債費が大幅な減額となりました。また、前年度に行った土地開発公社からの土地の買い戻しのための用地買収費がなくなったことなどにより、歳出総額では前年度比6.6%の減額となりました。

～ポイント～

- 歳入 …… 市税が市の歳入の50.8%を占めています。
- 歳出 (目的別) …… 民生費が市の歳出の39.2%を占めています。
教育費は学校園耐震補強事業などにより前年度に比べ約15億円の増となりました。
- 歳出 (性質別) …… 義務的経費(人件費、扶助費、公債費)に多くの支出をしています。(59.6%)
人件費は前年度に比べ約4億円の減となりました。

過去10年間の一般会計における歳入歳出決算額の推移は以下のとおりです。



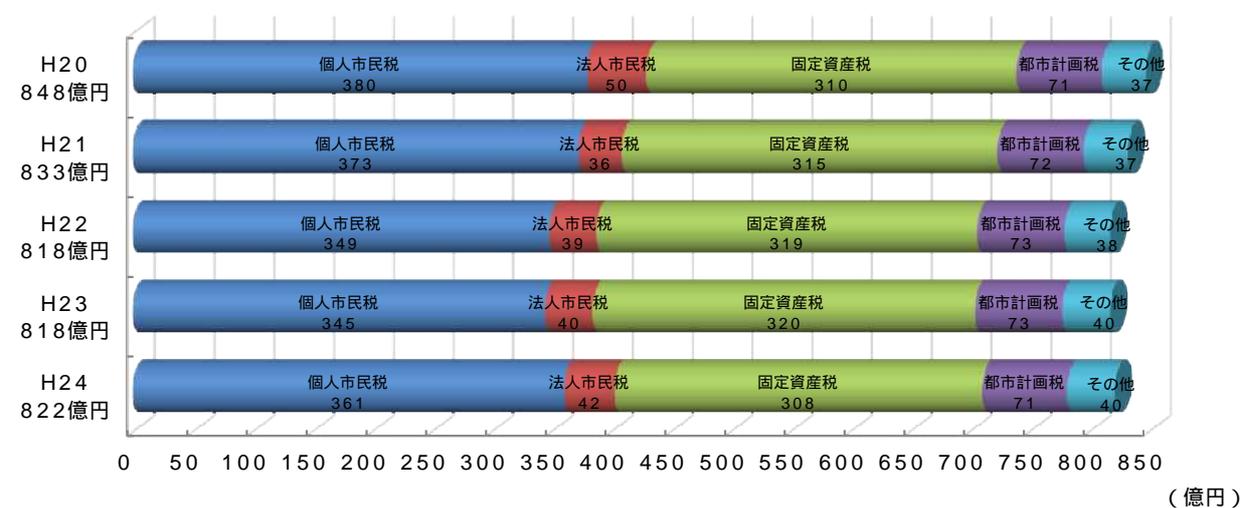
2. 歳入の推移

(1) 歳入



- ・市税はH20年度から年々減少傾向にありましたが、H24年度は4年ぶりに増加となりました。
- ・国庫支出金のH21年度の大きな増額は、定額給付金給付事業の実施などによるものです。
- ・市債は年々増加傾向にありましたが、H24年度に完成した東部総合処理センターの整備事業費の減に伴い減額となっています。
- ・その他のうち、H24年度は土地開発公社に対する貸付金の返還がなかったことから、諸収入が減額となりました。

(2) 市税

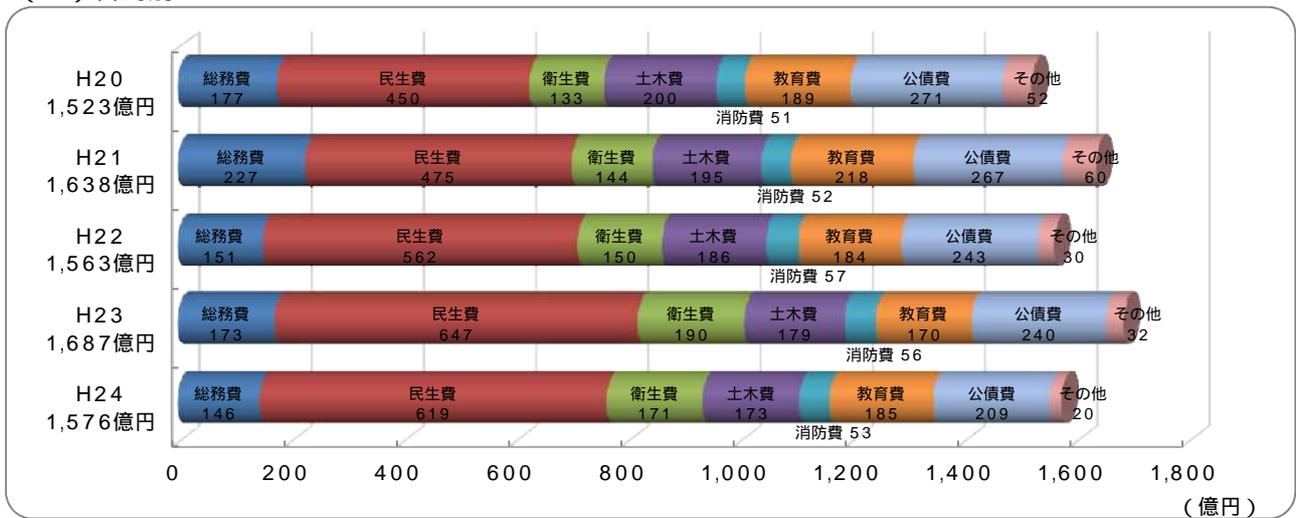


その他は市たばこ税・事業所税・軽自動車税・入湯税など。

- ・個人市民税はここ数年減少傾向にありましたが、H24年度は年少扶養控除の廃止等により増額となりました。
- ・固定資産税及び都市計画税は、評価替え等によりH24年度は減額となりました。

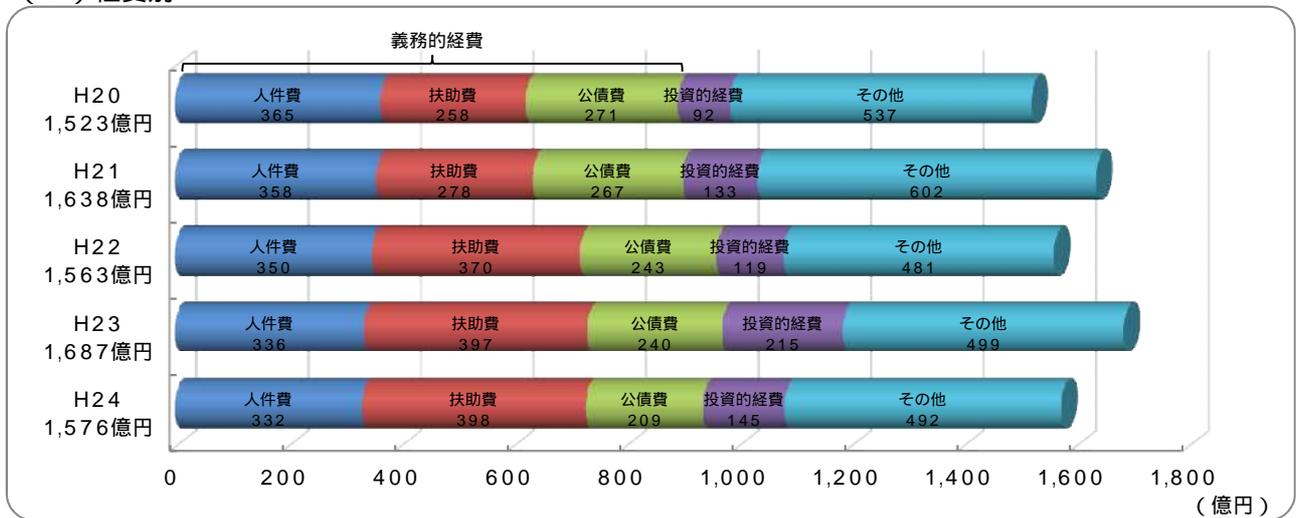
3. 歳出の推移

(1) 目的別



- ・総務費について、H21年度は定額給付金の支給等により増額となっており、H23年度は土地開発公社健全化計画に基づく長期保有土地の買い戻しを行ったことなどにより増額となっています。
- ・民生費は年々増加傾向にありましたが、H24年度は特別養護老人ホーム整備事業費の減などにより減額となっています。
- ・衛生費はH23年度に東部総合処理センターの建設工事が本格化を迎えたことや予防接種事業費の増などにより大幅な増額となっています。
- ・教育費はH21年度から減少傾向にありましたが、H24年度は学校園の施設耐震補強工事を実施したことなどにより増額となりました。

(2) 性質別



- ・人件費は年々減少傾向にあります。
- ・扶助費は年々増加傾向にあり、H24年度はH20年度に比べて1.5倍以上になっています。生活保護費をはじめとする社会保障関係経費が増加しています。
- ・公債費は返済がピークを過ぎたため減少傾向にあります。

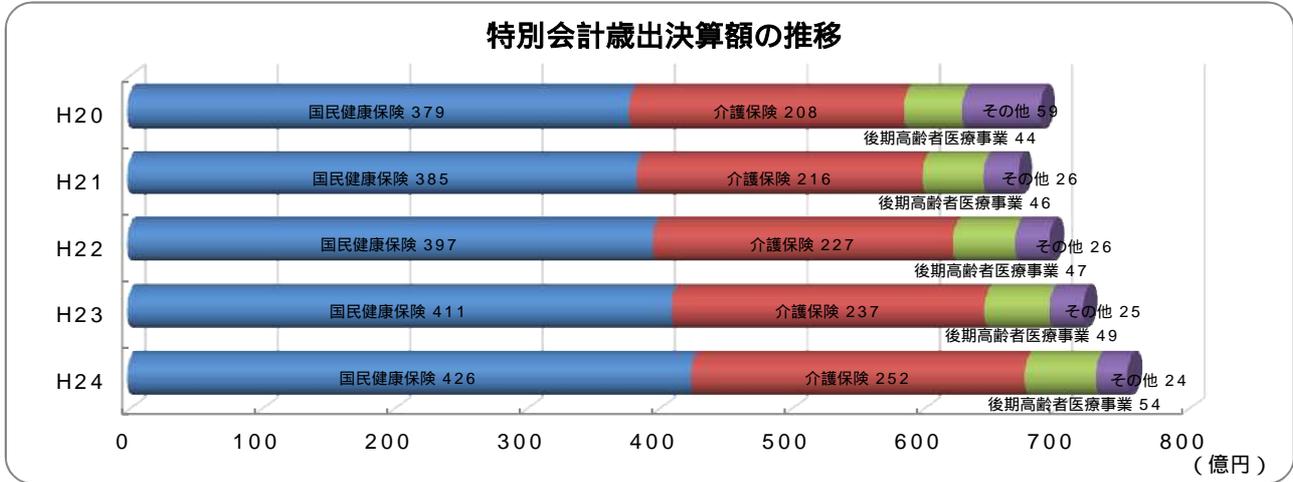
～用語解説～

義務的経費・・・人件費、扶助費、公債費は毎年度の支出が義務付けられており、容易に減らすことができない経費のことです。

なお、義務的経費の割合が大きくなると、新しいサービスや公共施設の建設などが難しくなります。

4. 特別会計の決算状況

国民健康保険特別会計は、後期高齢者支援金の増等により、前年度より15億3,566万円(3.7%)の増となりました。また、介護保険特別会計は、保険給付費の増により、前年度より15億1,856万円(6.4%)の増となり、後期高齢者医療事業特別会計は、後期高齢者医療広域連合納付金や保健事業費の増により、前年度より5億1,395万円(10.5%)の増となりました。特別会計全体では34億1,349万円(4.7%)の増となりました。

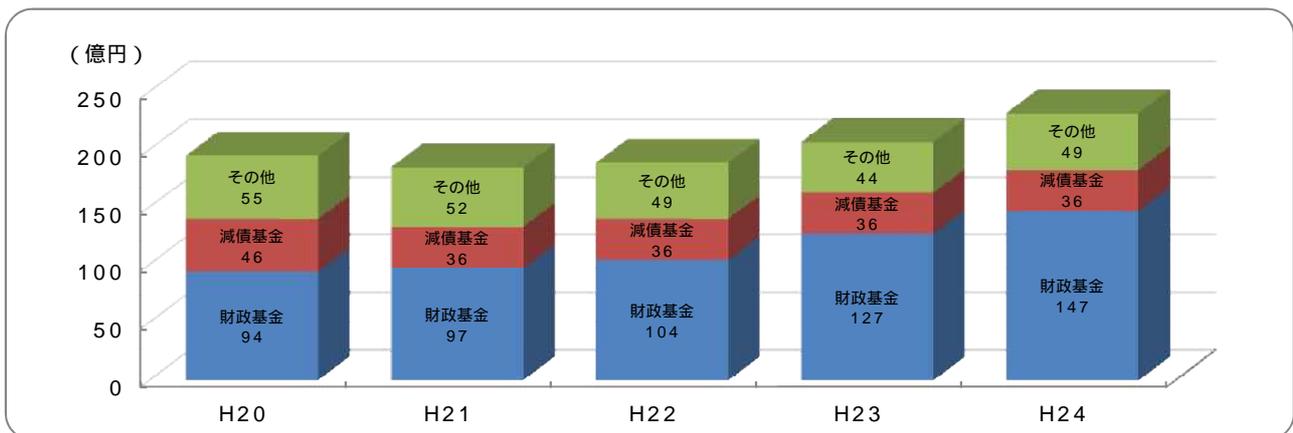


～用語解説～

特別会計・・・特定の目的のための会計で保険料など特定の収入があり、一般会計から切り離して、その収入・支出を経理する会計のことです。西宮市には11の特別会計があります。

5. 基金現在高について

基金とは市の貯金にあたるものです。下記の表は財政基金、減債基金、その他の特定目的基金の残高を示しています。



一般会計、特別会計の合計額で、土地開発基金を除く。

～用語解説～

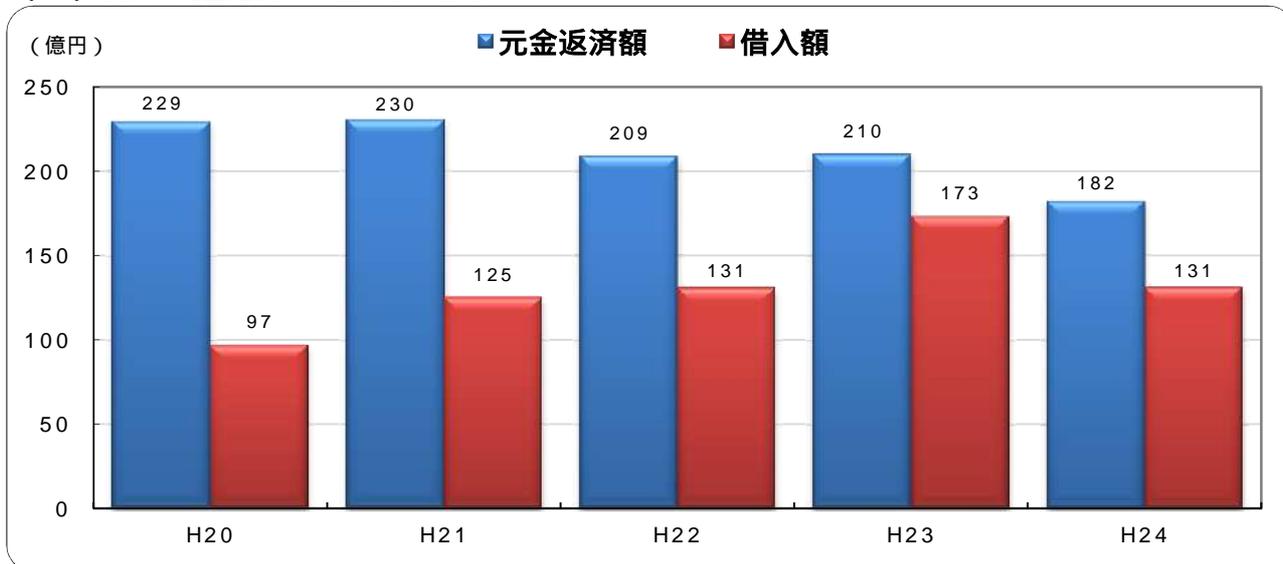
- ・財政基金・・・災害復旧など、財源不足が生じたときに取り崩すことを目的として設置している基金です。
- ・減債基金・・・市債の償還(返済)等に必要な財源を確保するために設置している基金です。

6 . 市債の状況

市債とは、学校や道路などの公共施設の整備などで金融機関などから長期的に借り入れる市の借金のことです。

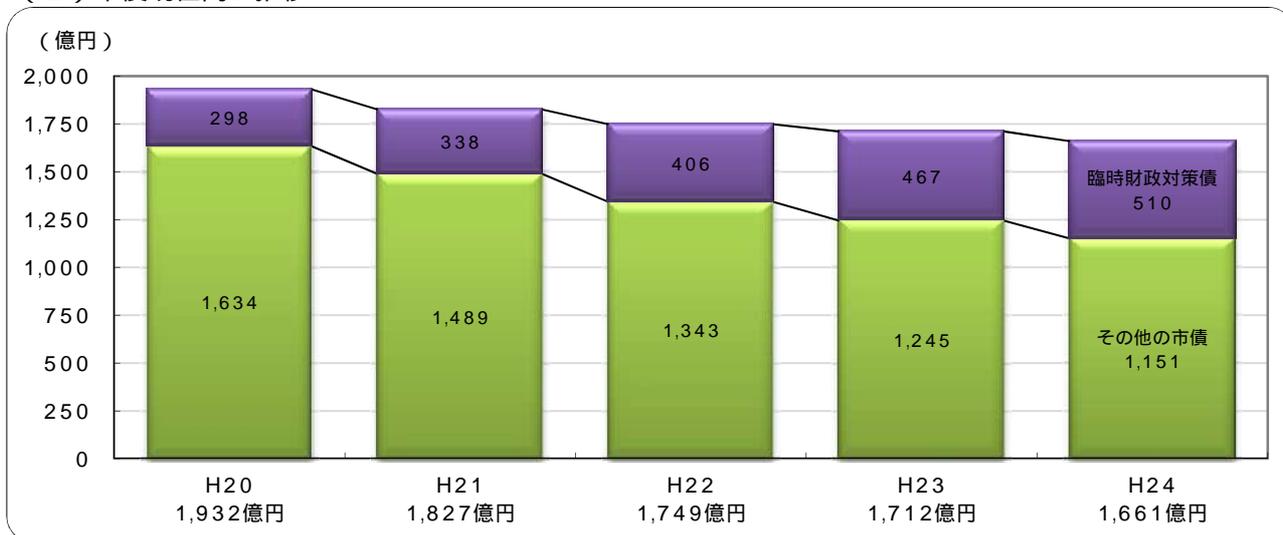
公共施設を整備するには一時的に多額の費用が必要になります。建設した年度だけでなく、その後長期間にわたり利用することから、建設費を複数年かけて返済していくことで、現在の市民と将来の市民の「世代間負担の公平」を図るため、市債の活用を行なっています。

(1) 市債の元金返済額と借入額の推移



一般会計、特別会計の合計額で、借換債を含む。

(2) 市債現在高の推移



一般会計、特別会計の合計額。

～用語解説～

臨時財政対策債・・・国から地方公共団体に交付する地方交付税の原資が足りないために、不足分の一部をいったん地方公共団体が借金をしてまかなう地方債のことです。H13年度から導入され、他の地方債と違い、建物の建設などに限らず自由に使うことができ、その返済額が翌年度以降の地方交付税で賄われることとなっています。

7. 投資的事業の状況

投資的事業とは、道路・公園・学校・公営住宅の建設など社会資本の整備や、災害によって被害を受けた施設等を復旧するための事業です。

事業費は一般会計、特別会計あわせて約145億円となっています。前年度に行った土地開発公社からの買い戻しのための用地買収費がなくなったことなどにより、前年度の事業費と比較すると約72億円の減額となっています。

投資的事業の事業費と財源内訳

(単位 千円)

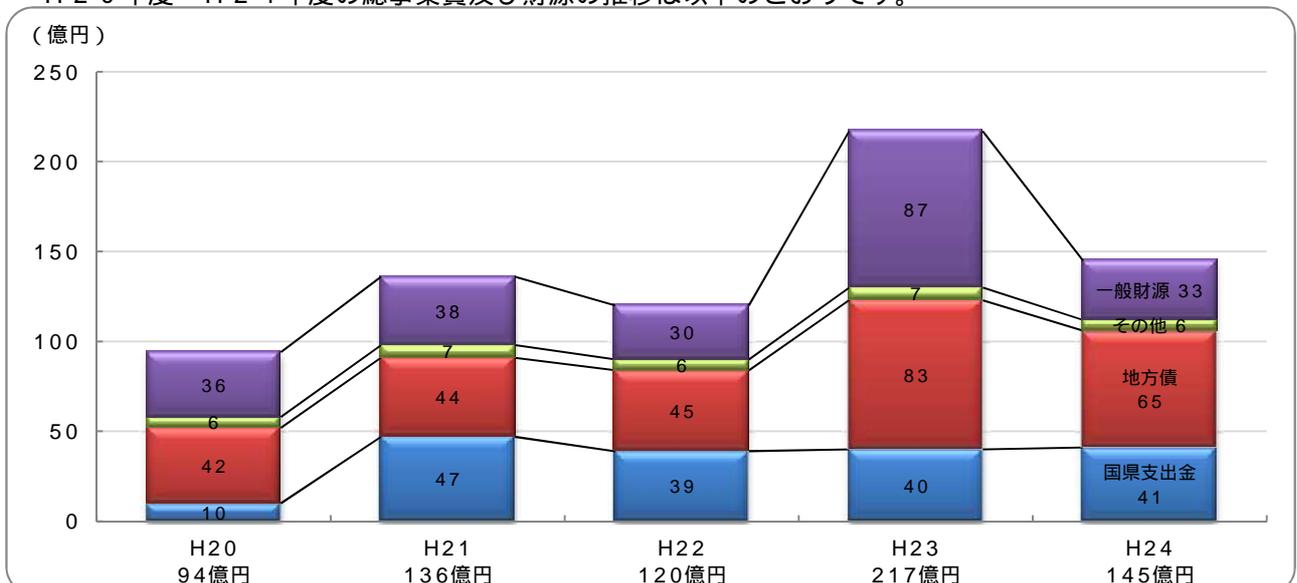
区 分	事 業 費	財 源 内 訳			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
一 般 会 計	14,478,984	4,148,750	6,439,600	619,344	3,271,290
特 別 会 計	20,763	0	14,700	1,800	4,263
合 計	14,499,747	4,148,750	6,454,300	621,144	3,275,553

主な投資的事業

(単位 千円)

事 業 名	事 業 費	事 業 概 要
東部総合処理センター整備事業	4,021,438	処理能力の低下した西部工場の代替施設として休止していた東部総合処理センターの焼却施設と破砕選別施設を解体撤去し、新たな焼却施設を建設した。
学校施設耐震補強事業	2,077,957	新耐震基準を満たさない学校園施設を対象に、安全で快適な教育環境の整備・確保を目的として、耐震補強事業を年次的・計画的に実施。平成24年度は、従来手法24棟、PFI手法12棟の耐震補強工事を行い、8棟について補強設計を実施した。
夙川小学校校舎等増改築事業	849,730	夙川小学校における児童の安全・安心と地域住民の避難場所としての機能確保のため、耐震上の既存不適合校舎である東校舎の改築を行った。また、環境モデル校として、太陽光発電や雨水利用、屋上緑化、ビオトープ等を整備した。
市営住宅整備事業	843,765	市営住宅の効率的かつ合理的な整備管理を推進するため平成33年度までを対象とする「西宮市営住宅整備・管理計画」を平成24年4月に策定、長期的な視点に立ち目標管理戸数を設定、建替えに伴い統廃合を進めている。平成24年度には甲子園九番町第2期事業の工事に着手し、事業継続中。
市役所前線街路事業	649,028	本市道路網の骨格を形成する市役所前線の未整備区間について、用地買収を進めるとともに道路改良工事を実施した。

H20年度～H24年度の総事業費及び財源の推移は以下のとおりです。



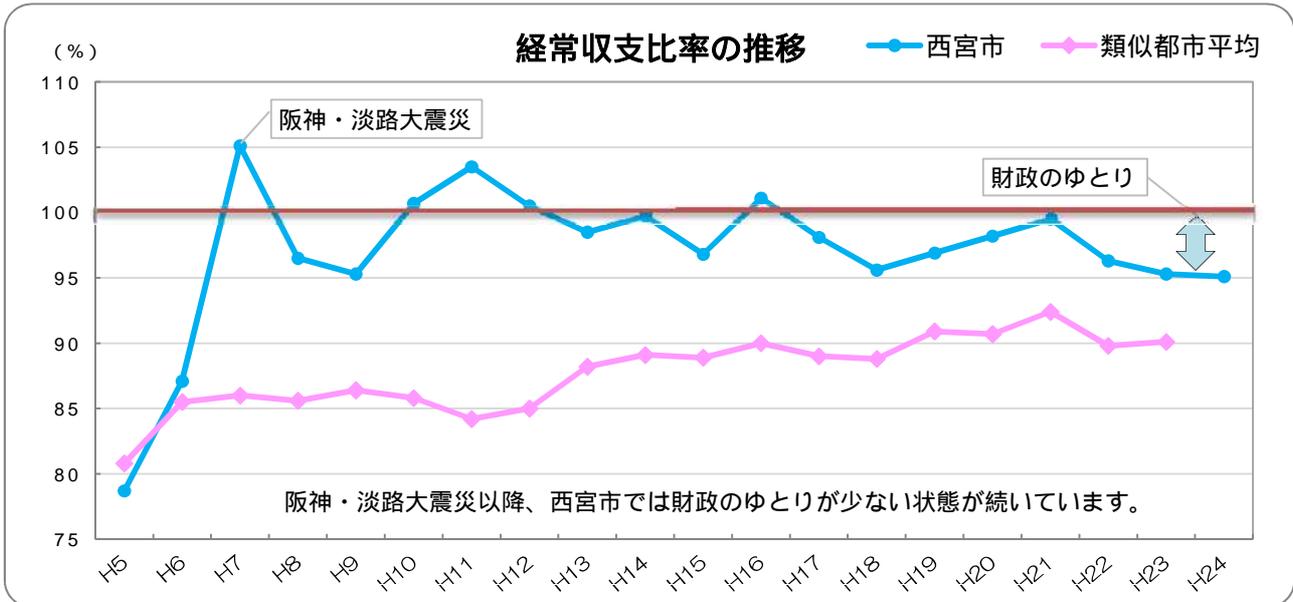
8 . 主な財政指標

(1) 経常収支比率

経常収支比率は、財政構造の弾力性を判断する指標で、人件費・扶助費・公債費などの経常経費に、市税収入等の経常一般財源が、どれだけ充当されたかを示す比率です。数値が低いほど財政にゆとりがあり、一般的に80%台が望ましいと言われています。

西宮市は類似都市と比較すると、歳出総額に占める義務的経費（人件費・扶助費・公債費）の割合が高くなっており、弾力性に欠けた財政構造になっています。

家計に例えると、給料に占める食費やローン返済などの使い道の決まった支払いの割合で、比率が低ければ、旅行などの自由に使えるお金が多くなり、家計にゆとりがあるというものです。比率が100%を超えると、給料だけではそうした決まった支払いができず、貯金や借金などに頼らなければ家計が成り立たない状態になります。

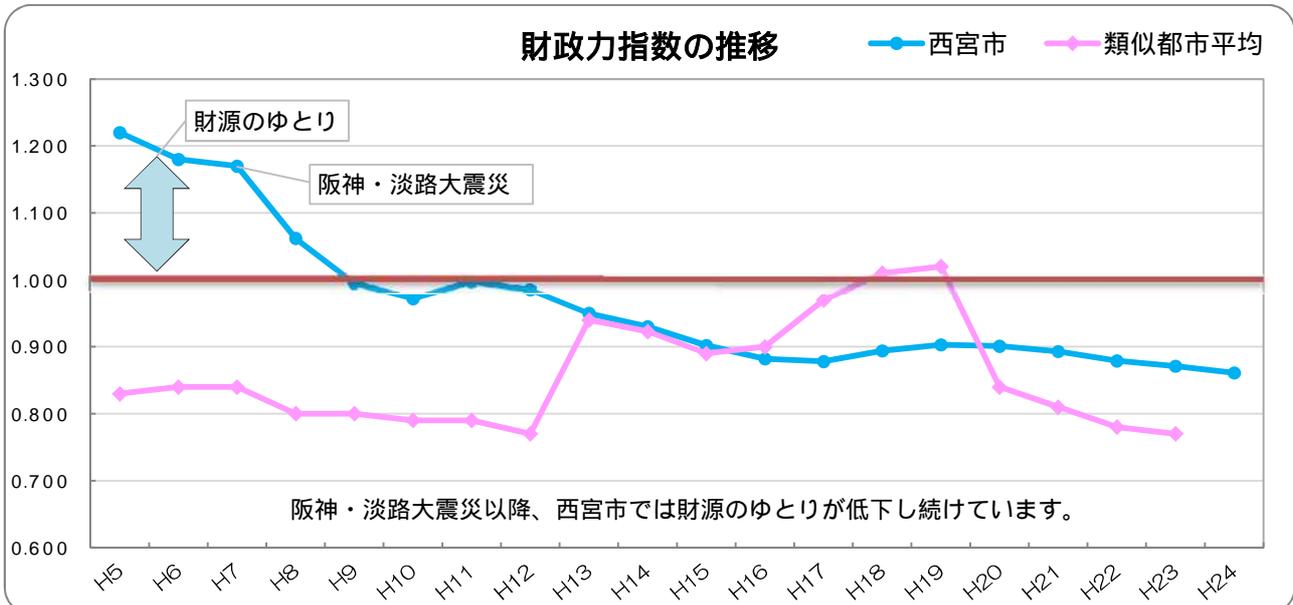


類似都市は、12年度以前は - 5 類型、13年度以降は - 5 類型、17年度以降は - 3 類型、20年度以降は中核市。

(2) 財政力指数

財政力指数は、地方交付税法の規定により算定した基準財政収入額を基準財政需要額で除した数値で、数値が大きいほど財政力が強いことを表しています。一般的に税収等が豊かで普通交付税の交付を受けない不交付団体は、この指数が1を超えることになり財源にゆとりがあるということになります。

阪神・淡路大震災以降、数値は低下傾向ですが、類似都市（中核市）と比較すると、やや高い数値となっており、これは西宮市の財政基盤がやや強いことを示しています。



類似都市は、12年度以前は - 5 類型、13年度以降は - 5 類型、17年度以降は - 3 類型、20年度以降は中核市。

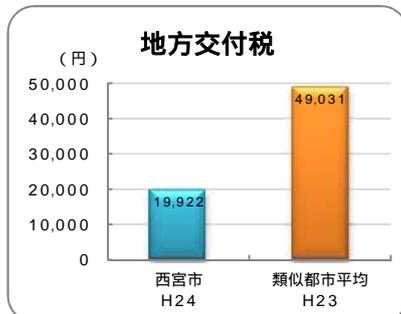
9. 市民一人あたりの決算額

類似都市との比較を行う為、普通会計の数値を用いています。

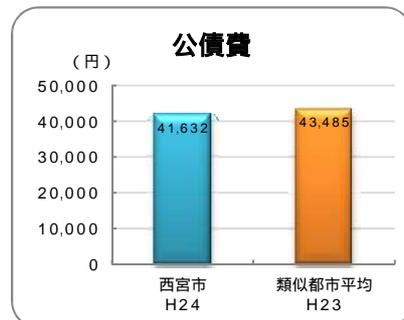
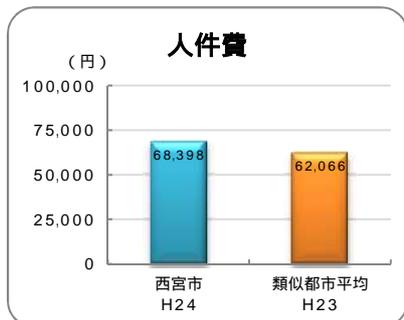
類似都市平均はH23年度財政状況類似団体比較カードのデータに基づいています。

西宮市(H24)の数値は住民基本台帳に基づく人口480,672人(H25年3月31日現在)より算定しています。

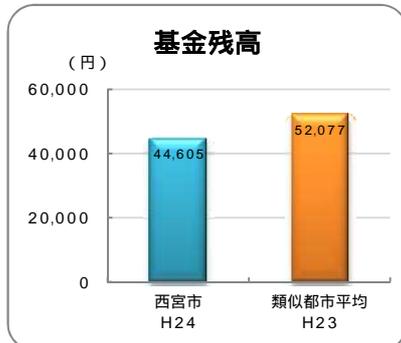
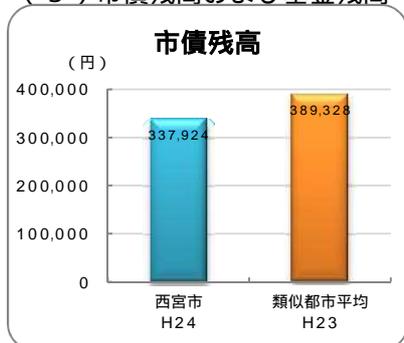
(1) 歳入



(2) 歳出



(3) 市債残高および基金残高



～用語解説～

普通会計・・・各地方公共団体の財政状況の把握、地方財政全体の分析等に用いるため、総務省の定める基準により作成されるものです。西宮市では、一般会計のほか区画整理清算費、中小企業勤労者福祉共済事業、公共用地買収事業、母子寡婦福祉資金貸付事業の各特別会計を含み、会計間の重複額等を控除して一つの会計にまとめたものです。